

発行所 株式会社FPシミュレーション 大阪府中央区平野町3-1-10 Tel :06-6209-7678
編集発行人:税理士 三輪 厚二 Fax :06-6209-8145

◇ ビール好きな日本人

Q : 国税庁では、酒類の消費数量等をまとめているそうですが、一番飲まれている酒類は何でしょうか。

A : 日本人が一番飲んでいる酒類はビールのです。

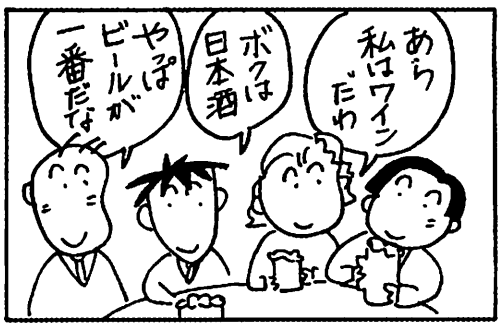
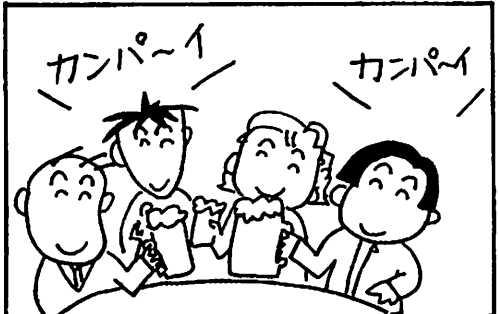
【解説】

日本では、所得税や法人税が十分に整備されていなかった明治から大正にかけて、酒税は国の重要な財源となっており、1913年には国税収入の約20%と税科目のトップを占めたこともありました。現在は4%程度です。

ところで、国税庁では、「酒のしおり」をまとめ、酒類販売(消費)数量等を公表しています。それによると、平成10年度に成人1人当たりの消費数量が一番多かった酒類はビール(58.9L)で、2位は清酒(10.6L)、3位は発泡酒等の雑酒(9.5L)となっており、ビールが2位以下を大きく引き離しています。

成人1人当たりの酒類消費数量を都道府県別にみると、東京都(128.6L)が1位で、次いで大阪府(118.2L)が2位となっています。3位は新潟県(113.6L)、4位は高知県(112.6L)、5位は秋田県(106.6L)となっており、大都市と酒処の地域が上位に並んでいるようです。

ちなみに、各国別の人口1人当たりアルコール飲料消費数量をみると、1位がルクセンブルク、2位ポルトガル、3位フランスで、日本は28位です。



KIMIYO-I